

3 介護保険在宅サービス利用者調査

(1) 基本属性

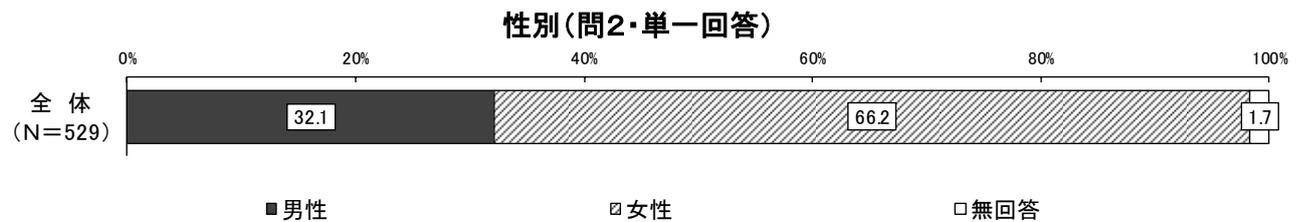
①調査票の記入者（問1・単一回答）

調査票の記入者は「本人」が55.8%、「本人の家族」が29.5%となっている。



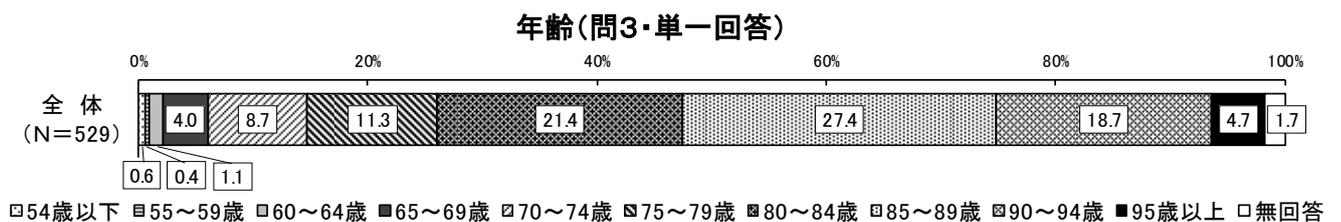
②性別（問2・単一回答）

性別は、「男性」が32.1%、「女性」が66.2%となっている。



③年齢（問3・単一回答）

年齢は、「85～89歳」(27.4%)が最も多く、「80～84歳」(21.4%)、「90～94歳」(18.7%)、「75～79歳」(11.3%)と続いている。



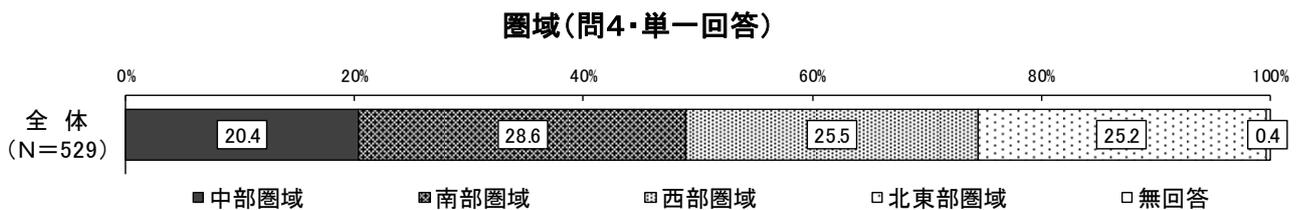
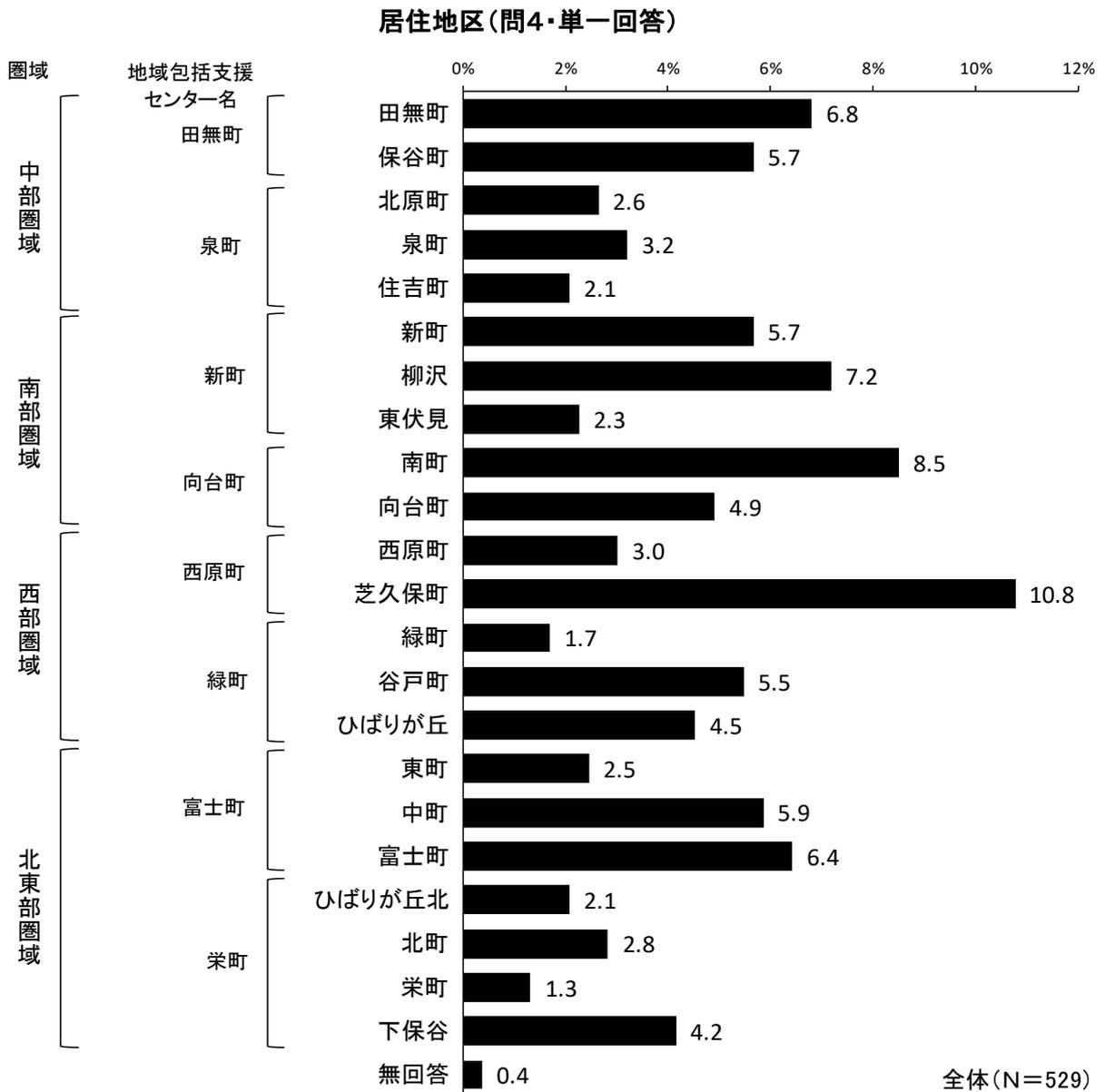
第2章 各調査の結果

3 介護保険在宅サービス利用者調査

④居住地区（問4・単一回答）

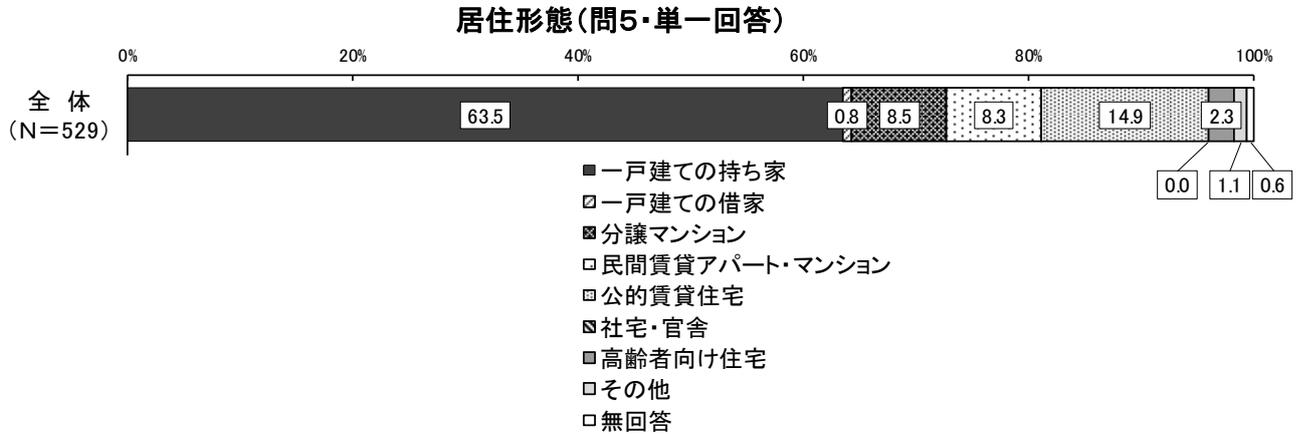
居住地区は、「芝久保町」（10.8%）が最も多く、「南町」（8.5%）、「柳沢」（7.2%）、「田無町」（6.8%）、「富士町」（6.4%）、「中町」（5.9%）と続いている。

圏域で見ると、「南部圏域」（28.6%）が最も多く、「西部圏域」（25.5%）、「北東部圏域」（25.2%）と続いている。



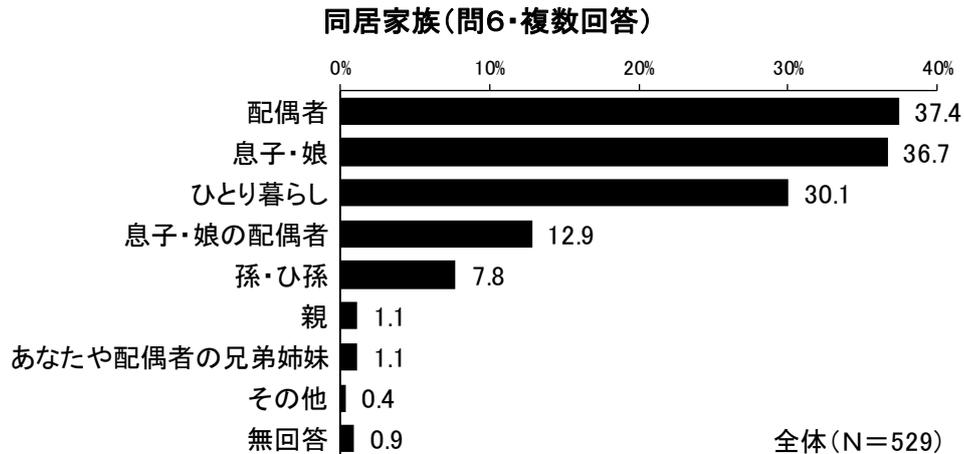
⑤居住形態（問5・単一回答）

居住形態は、「一戸建ての持ち家」（63.5%）が最も多く、「公的賃貸住宅」（14.9%）、
「分譲マンション」（8.5%）、「民間賃貸アパート・マンション」（8.3%）と続いている。



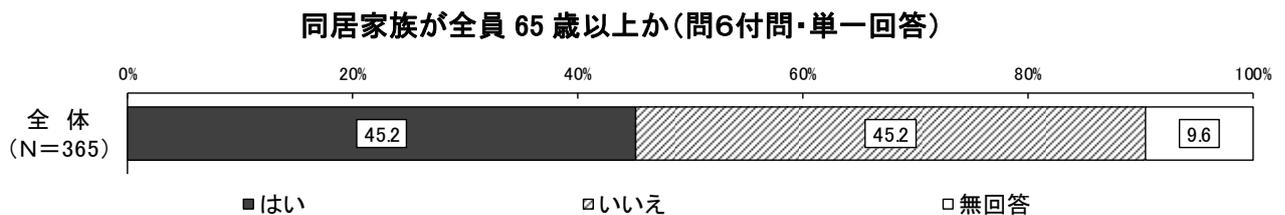
⑥同居家族（問6・複数回答）

同居家族は、「配偶者」（37.4%）が最も多く、「息子・娘」（36.7%）、「ひとり暮らし」（30.1%）、「息子・娘の配偶者」（12.9%）と続いている。



⑦同居家族が全員 65 歳以上か（問6付問・単一回答）

同居家族のいる人（問6で「ひとり暮らし」と回答しなかった人）の同居家族が全員 65 歳以上かは、「はい」及び「いいえ」がともに 45.2%となっている。

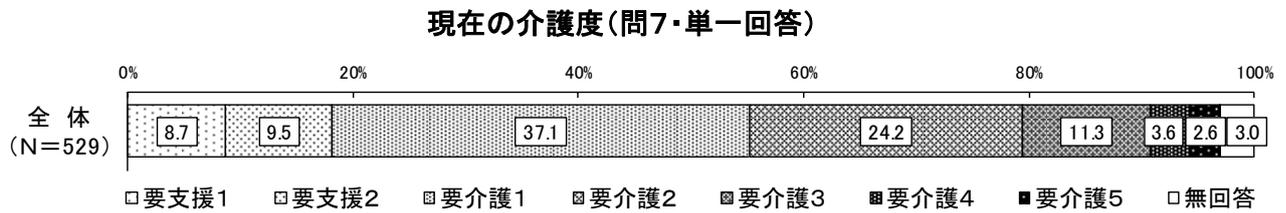


第2章 各調査の結果

3 介護保険在宅サービス利用者調査

⑧現在の介護度（問7・単一回答）

現在の介護度は、「要介護1」（37.1%）が最も多く、「要介護2」（24.2%）、「要介護3」（11.3%）、「要支援2」（9.5%）と続いている。



性・年齢別では、男女とも70歳代、80歳代では「要介護1」や「要介護2」が多くなっている。

【性・年齢別】現在の介護度(問7・単一回答)

		現在の介護度(問7・単一回答)							(%)
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体 (N=529)		8.7	9.5	37.1	24.2	11.3	3.6	2.6	3.0
男性	64歳以下 (N=4)	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳 (N=11)	9.1	18.2	9.1	27.3	18.2	18.2	0.0	0.0
	70～74歳 (N=23)	4.3	8.7	52.2	21.7	8.7	4.3	0.0	0.0
	75～79歳 (N=22)	13.6	4.5	31.8	22.7	18.2	0.0	4.5	4.5
	80～84歳 (N=33)	6.1	9.1	36.4	30.3	12.1	3.0	3.0	0.0
	85～89歳 (N=45)	4.4	6.7	37.8	31.1	15.6	0.0	0.0	4.4
	90～94歳 (N=24)	12.5	8.3	50.0	12.5	8.3	8.3	0.0	0.0
	95歳以上 (N=7)	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3
女性	64歳以下 (N=7)	14.3	0.0	14.3	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0
	65～69歳 (N=9)	11.1	0.0	44.4	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0
	70～74歳 (N=23)	17.4	4.3	30.4	30.4	8.7	4.3	0.0	4.3
	75～79歳 (N=37)	5.4	8.1	27.0	32.4	18.9	0.0	2.7	5.4
	80～84歳 (N=80)	11.3	10.0	45.0	17.5	10.0	0.0	2.5	3.8
	85～89歳 (N=100)	13.0	13.0	40.0	26.0	5.0	3.0	0.0	0.0
	90～94歳 (N=74)	5.4	9.5	39.2	14.9	13.5	2.7	9.5	5.4
	95歳以上 (N=18)	0.0	0.0	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0
無回答 (N=12)		0.0	16.7	16.7	25.0	8.3	16.7	0.0	16.7

(2) 医療の状況

① かかりつけ医の有無 (問8・単一回答)

かかりつけ医の有無は、「いる」が93.2%、「いない」が5.7%となっている。

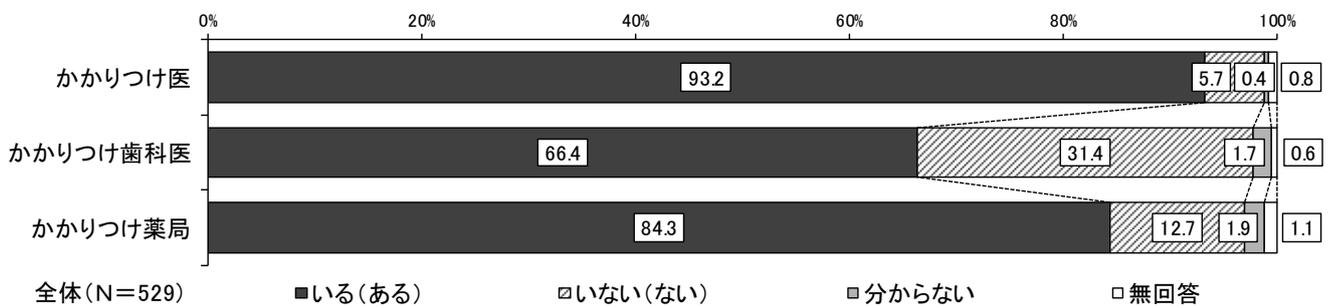
② かかりつけ歯科医の有無 (問9・単一回答)

かかりつけ歯科医の有無は、「いる」が66.4%、「いない」が31.4%となっている。

③ かかりつけ薬局の有無 (問10・単一回答)

かかりつけ薬局の有無は、「ある」が84.3%、「ない」が12.7%となっている。

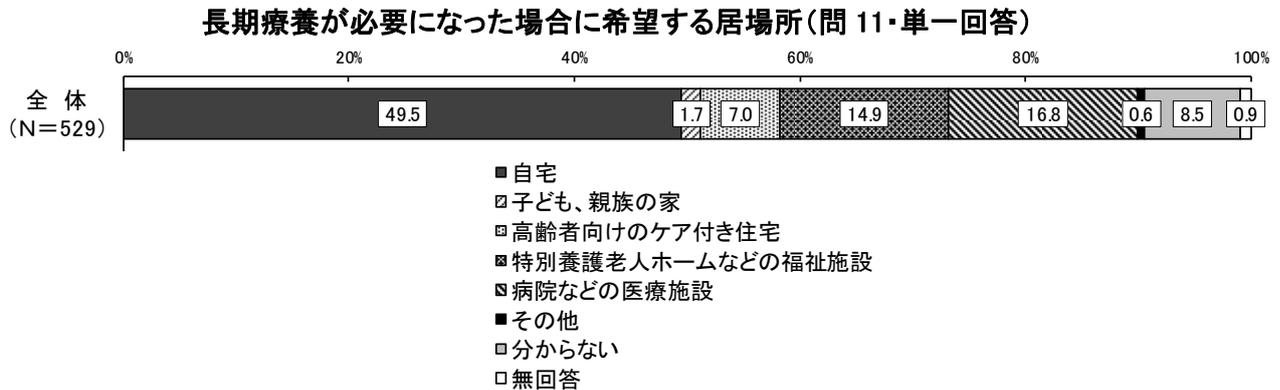
かかりつけ医・歯科医・薬局の有無(問8~10・単一回答)



(3) 今後の希望

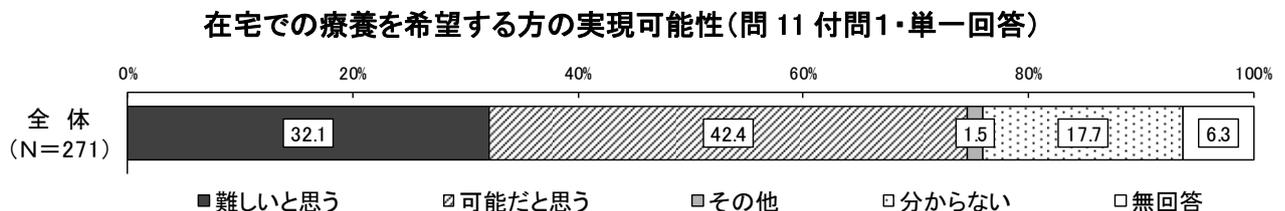
①長期療養が必要になった場合に希望する居場所（問11・単一回答）

長期療養が必要になった場合に希望する居場所は、「自宅」（49.5%）が最も多く、「病院などの医療施設」（16.8%）、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」（14.9%）、「高齢者向けのケア付き住宅」（7.0%）と続いている。



②在宅での療養を希望する方の実現可能性（問11付問1・単一回答）

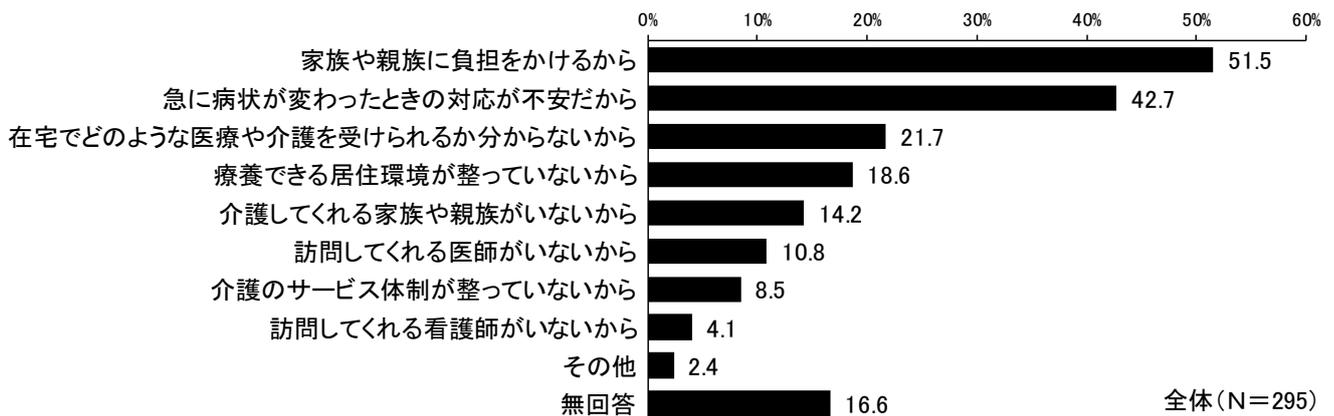
在宅での療養を希望する人（問11で「自宅」「子ども、親族の家」と回答した人）の実現可能性は、「可能だと思う」が42.4%、「難しいと思う」が32.1%、「分からない」が17.7%となっている。



③在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由（問 11 付問 2・複数回答（3つまで））

在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う人（問 11 で「高齢者向けのケア付き住宅」「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「病院などの医療施設」「その他」と回答した人及び問 11 付問 1 で「難しいと思う」と回答した人）の理由は、「家族や親族に負担をかけるから」（51.5%）が最も多く、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」（42.7%）、「在宅でどのような医療や介護を受けられるか分からないから」（21.7%）と続いている。

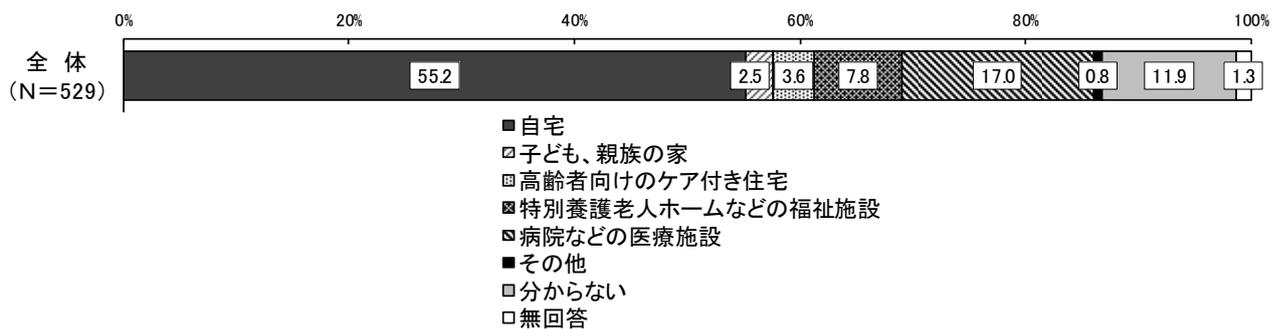
在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由(問 11 付問2・複数回答(3つまで))



④人生の最期を迎えたい場所（問 12・単一回答）

人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」（55.2%）が最も多く、「病院などの医療施設」（17.0%）、「分からない」（11.9%）、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」（7.8%）と続いている。

人生の最期を迎えたい場所(問 12・単一回答)

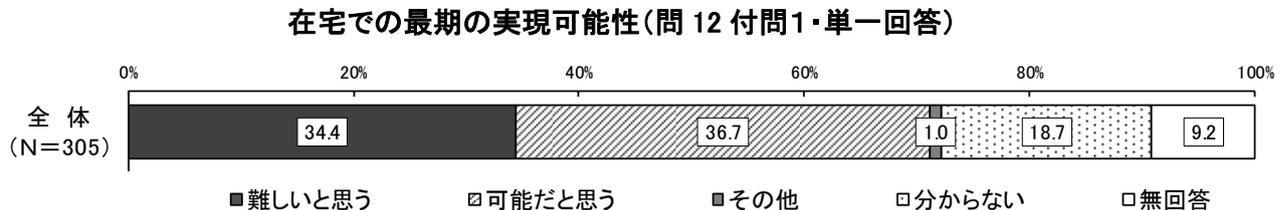


第2章 各調査の結果

3 介護保険在宅サービス利用者調査

⑤在宅での最期の実現可能性（問 12 付問 1・単一回答）

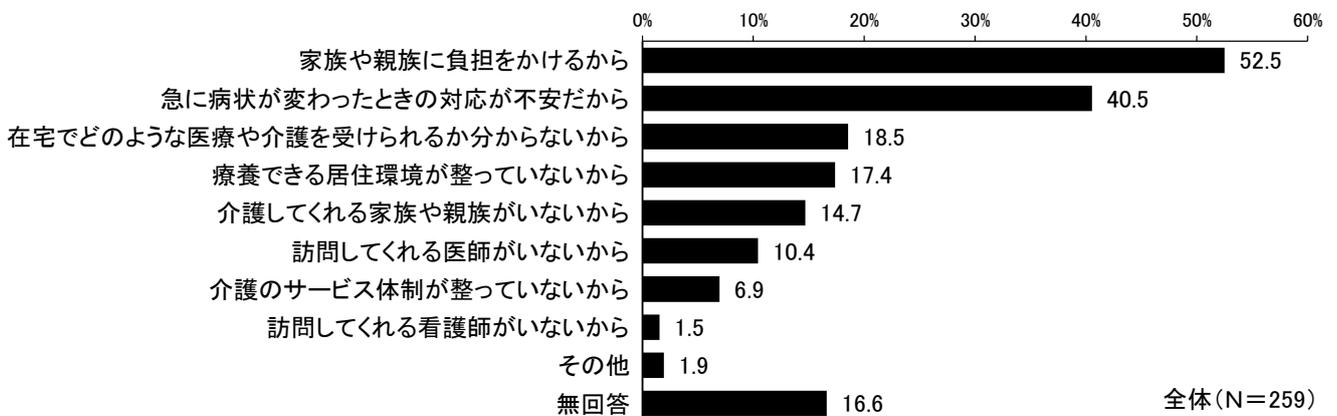
在宅での最期を希望する人（問 12 で「自宅」「子ども、親族の家」と回答した人）の実現可能性は、「可能だと思う」が 36.7%、「難しいと思う」が 34.4%、「分からない」が 18.7%となっている。



⑥在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由（問 12 付問 2・複数回答（3つまで））

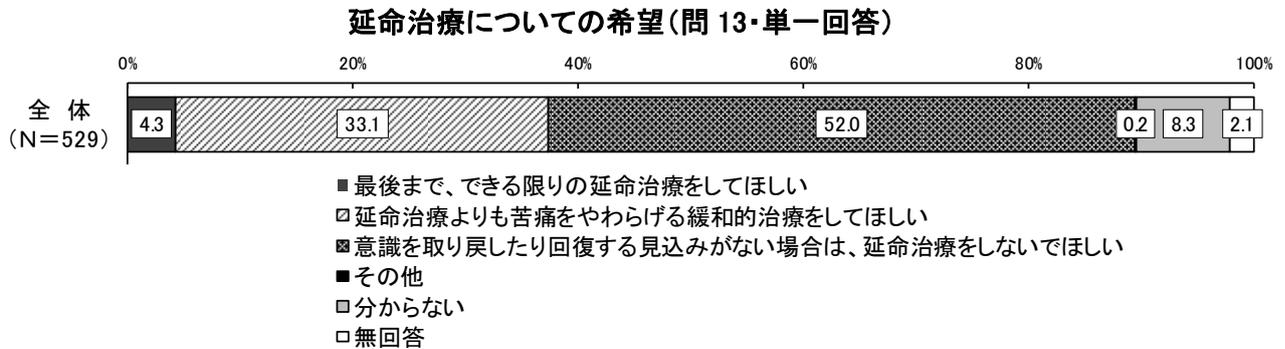
在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う人（問 12 で「高齢者向けのケア付き住宅」「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「病院などの医療施設」「その他」と回答した人及び問 12 付問 1 で「難しいと思う」と回答した人）の理由は、「家族や親族に負担をかけるから」（52.5%）が最も多く、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」（40.5%）、「在宅でどのような医療や介護を受けられるか分からないから」（18.5%）、「療養できる居住環境が整っていないから」（17.4%）と続いている。

在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由(問 12 付問2・複数回答(3つまで))



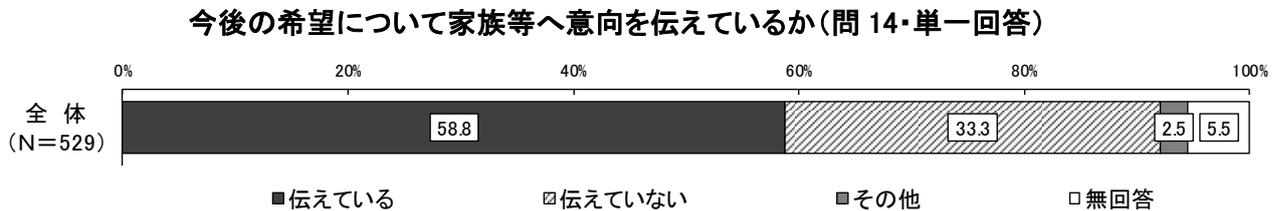
⑦延命治療についての希望（問13・単一回答）

延命治療についての希望は、「意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療をしないでほしい」（52.0%）が最も多く、「延命治療よりも苦痛をやわらげる緩和的治療をしてほしい」（33.1%）、「分からない」（8.3%）、「最後まで、できる限りの延命治療をしてほしい」（4.3%）と続いている。



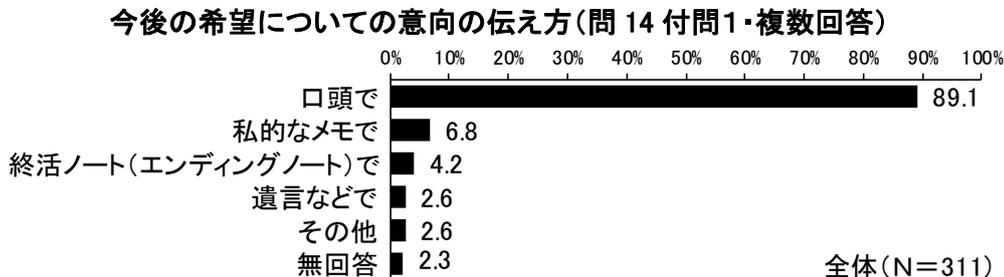
⑧今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているか（問14・単一回答）

今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているかについては、「伝えている」が58.8%、「伝えていない」が33.3%となっている。



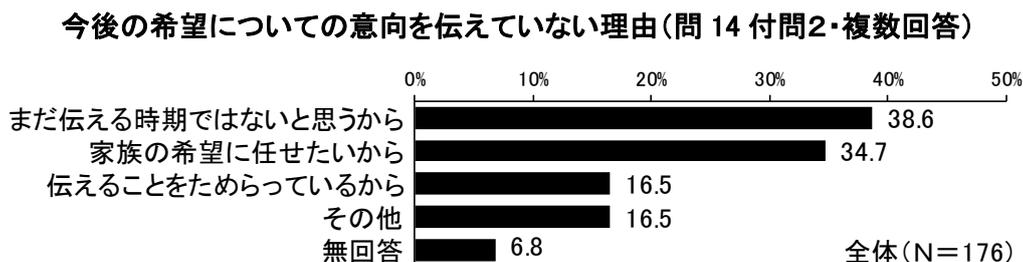
⑨今後の希望についての意向の伝え方（問 14 付問 1・複数回答）

今後の希望についての意向を伝えている人（問 14 で「伝えている」と回答した人）の伝え方は、「口頭で」（89.1%）が最も多く、「私的なメモで」（6.8%）、「終活ノート（エンディングノート）で」（4.2%）、「遺言などで」（2.6%）と続いている。



⑩今後の希望についての意向を伝えていない理由（問 14 付問 2・複数回答）

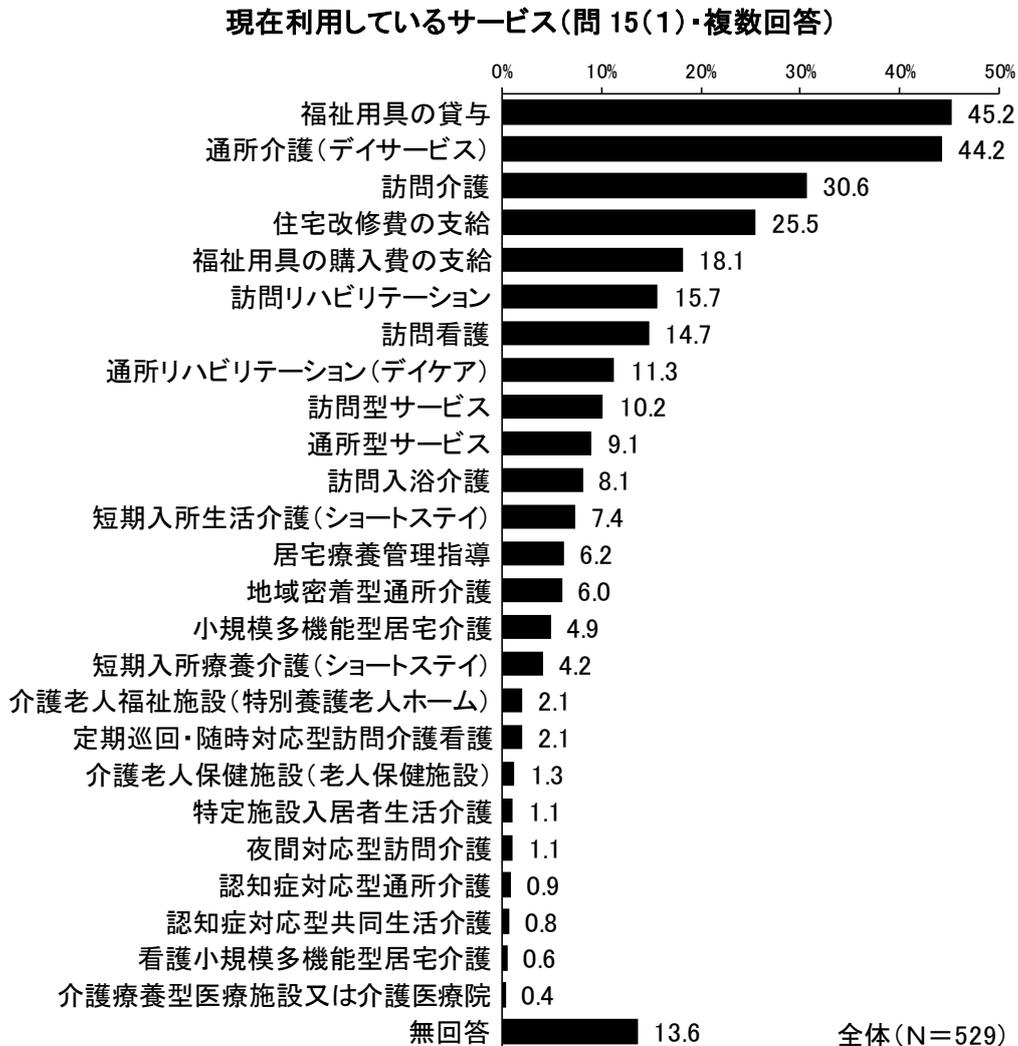
今後の希望についての意向を伝えていない人（問 14 で「伝えていない」と回答した人）の理由は、「まだ伝える時期ではないと思うから」（38.6%）が最も多く、「家族の希望に任せたいから」（34.7%）、「伝えることをためらっているから」（16.5%）と続いている。



(4) 介護保険サービスの利用状況

①現在利用しているサービス（問15（1）・複数回答）

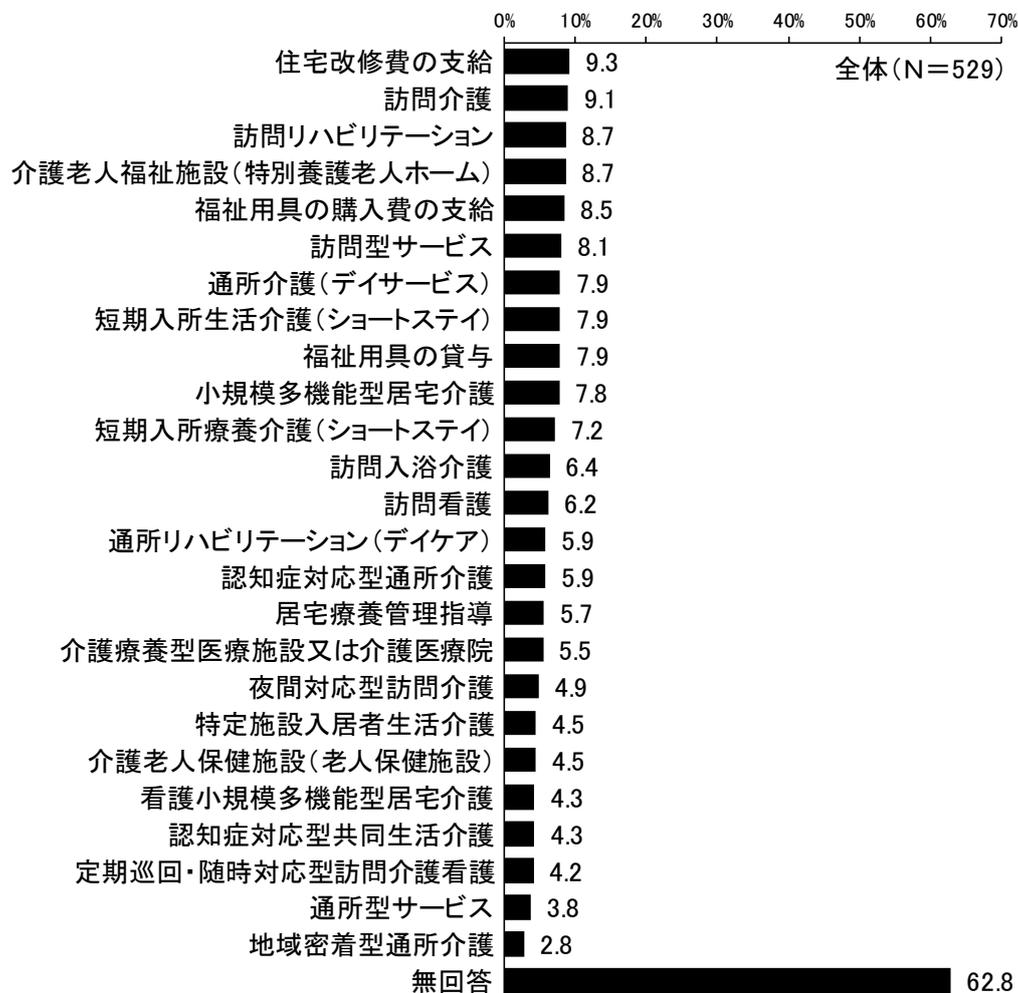
現在利用しているサービスは、「福祉用具の貸与」（45.2%）が最も多く、「通所介護（デイサービス）」（44.2%）、「訪問介護」（30.6%）、「住宅改修費の支給」（25.5%）と続いている。



②今後増やしたい、利用したいサービス（問15（2）・複数回答）

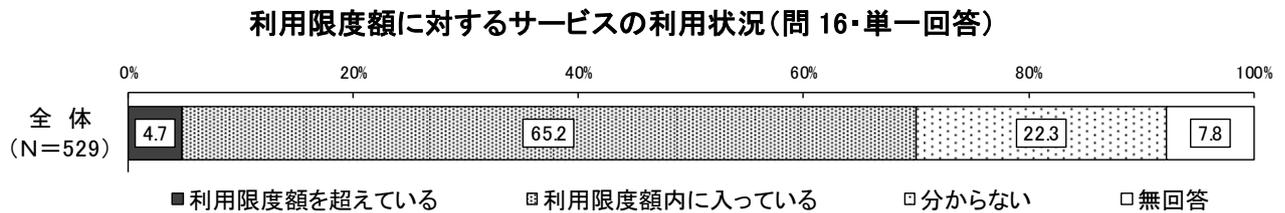
今後増やしたい、利用したいサービスは、「住宅改修費の支給」（9.3%）が最も多く、「訪問介護」（9.1%）、「訪問リハビリテーション」及び「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（ともに8.7%）と続いている。

今後増やしたい、利用したいサービス(問15(2)・複数回答)



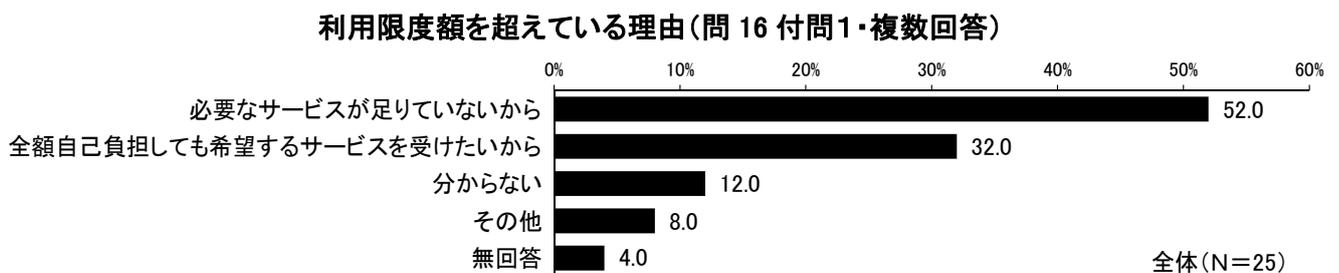
③利用限度額に対するサービスの利用状況（問16・単一回答）

利用限度額に対するサービスの利用状況は、「利用限度額内に入っている」が65.2%、「利用限度額を超えている」が4.7%、「分からない」が22.3%となっている。



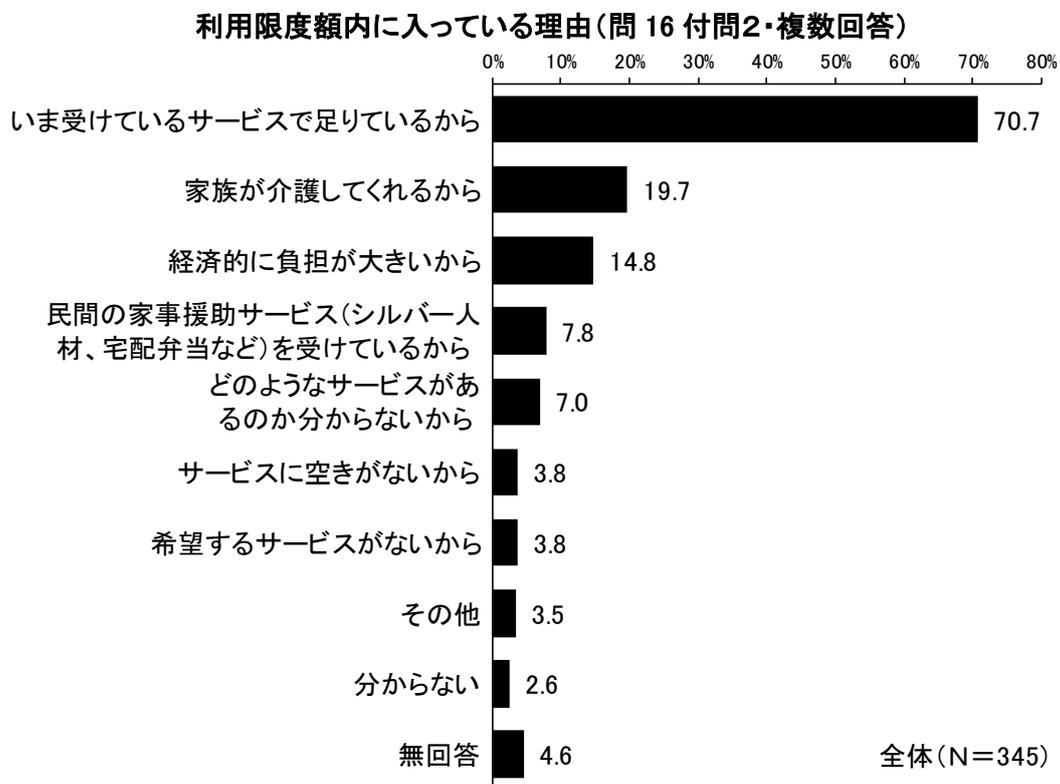
④利用限度額を超えている理由（問16付問1・複数回答）

問16で「利用限度額を超えている」と回答した人の理由は、「必要なサービスが足りないから」（52.0%）が最も多く、「全額自己負担しても希望するサービスを受けたいから」（32.0%）、「分からない」（12.0%）と続いている。



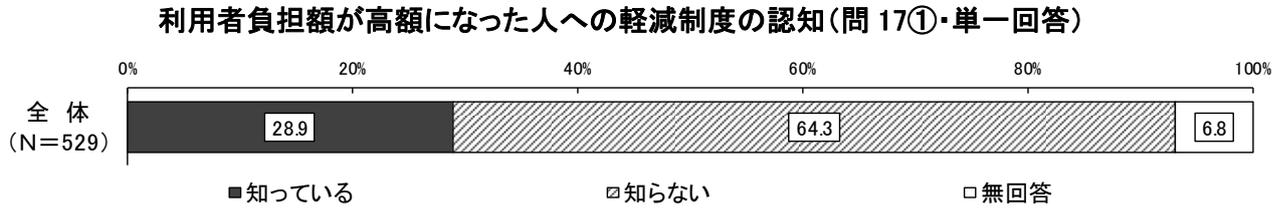
⑤利用限度額内に入っている理由（問 16 付問 2・複数回答）

問 16 で「利用限度額内に入っている」と回答した人の理由は、「いま受けているサービスで足りているから」（70.7%）が最も多く、「家族が介護してくれるから」（19.7%）、「経済的に負担が大きいから」（14.8%）と続いている。



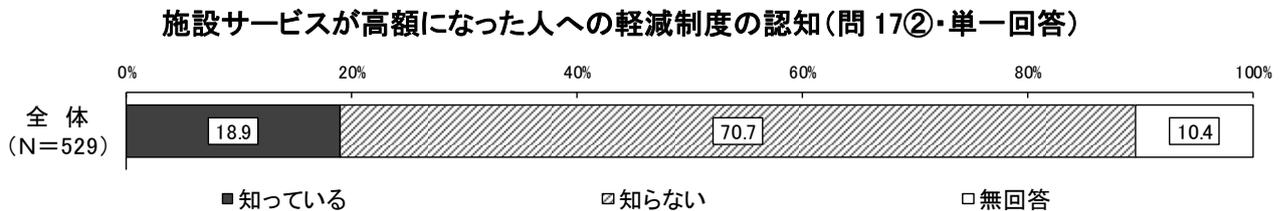
⑥利用者負担額が高額になった人への軽減制度の認知（問 17①・単一回答）

利用者負担額が高額になった人への軽減制度の認知は、「知っている」が 28.9%、「知らない」が 64.3%となっている。



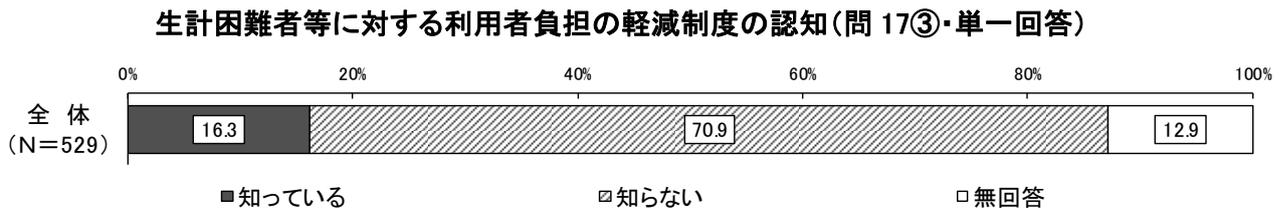
⑦施設サービスが高額になった人への軽減制度の認知（問 17②・単一回答）

施設サービスが高額になった人への軽減制度の認知は、「知っている」が 18.9%、「知らない」が 70.7%となっている。



⑧生計困難者等に対する利用者負担の軽減制度の認知（問 17③・単一回答）

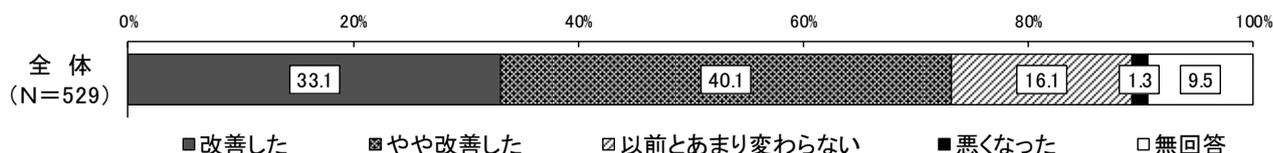
生計困難者等に対する利用者負担の軽減制度の認知は、「知っている」が 16.3%、「知らない」が 70.9%となっている。



⑨介護保険サービス利用による生活環境の変化（問18・単一回答）

介護保険サービス利用による生活環境の変化は、「やや改善した」（40.1%）が最も多く、「改善した」（33.1%）、「以前とあまり変わらない」（16.1%）、「悪くなった」（1.3%）と続いている。

介護保険サービス利用による生活環境の変化(問18・単一回答)



⑩生活環境が変わらない、悪くなった理由（問18付問・複数回答）

生活環境が変わらない又は悪くなった人（問18で「以前とあまり変わらない」「悪くなった」と回答した人）の理由は、「希望したサービスが入っていない」（16.3%）が最も多く、「本人や家族の希望が反映されていない」（13.0%）、「希望した回数や時間が確保されていない」（12.0%）、「希望しないサービスが入っている」（5.4%）と続いている。

生活環境が変わらない、悪くなった理由(問18付問・複数回答)

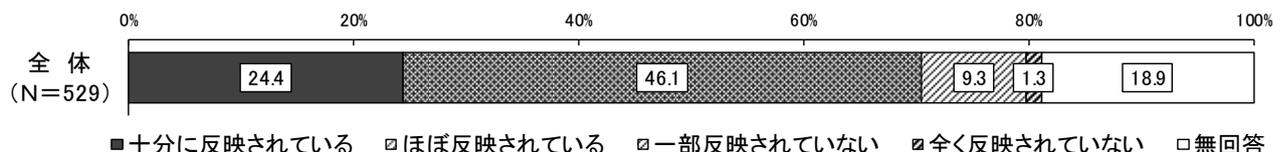


[その他の記述] 利用期間が短く分からない、毎日同じでつまらない、など

⑪ケアプランへの希望の反映状況（問19・単一回答）

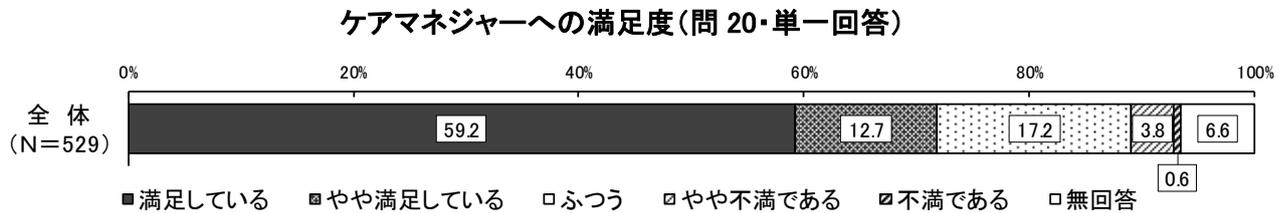
ケアプランへの希望の反映状況は、「ほぼ反映されている」（46.1%）が最も多く、「十分に反映されている」（24.4%）、「一部反映されていない」（9.3%）、「全く反映されていない」（1.3%）と続いている。

ケアプランへの希望の反映状況(問19・単一回答)



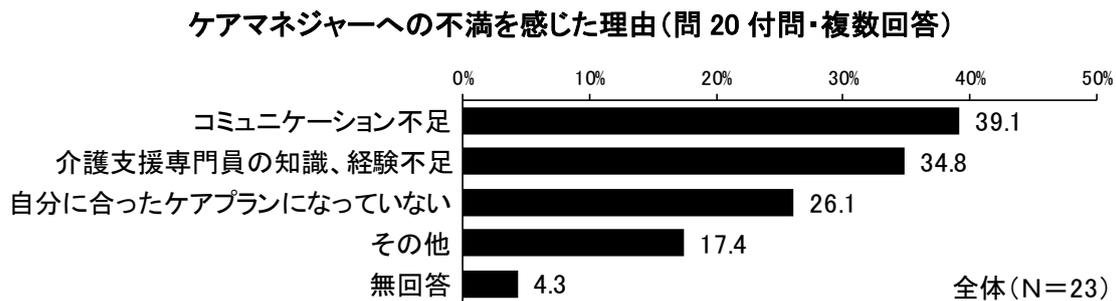
⑫ ケアマネジャーへの満足度（問 20・単一回答）

ケアマネジャーへの満足度は、「満足している」（59.2%）が最も多く、「ふつう」（17.2%）、「やや満足している」（12.7%）、「やや不満である」（3.8%）と続いている。



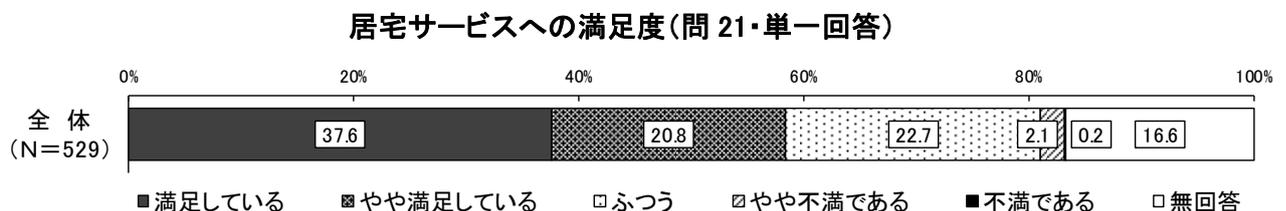
⑬ ケアマネジャーへの不満を感じた理由（問 20 付問・複数回答）

ケアマネジャーへの不満を感じた人（問 20 で「やや不満である」「不満である」と回答した人）の理由は、「コミュニケーション不足」（39.1%）が最も多く、「介護支援専門員の知識、経験不足」（34.8%）、「自分に合ったケアプランになっていない」（26.1%）と続いている。



⑭ 居宅サービスへの満足度（問 21・単一回答）

居宅サービスへの満足度は、「満足している」（37.6%）が最も多く、「ふつう」（22.7%）、「やや満足している」（20.8%）、「やや不満である」（2.1%）と続いている。

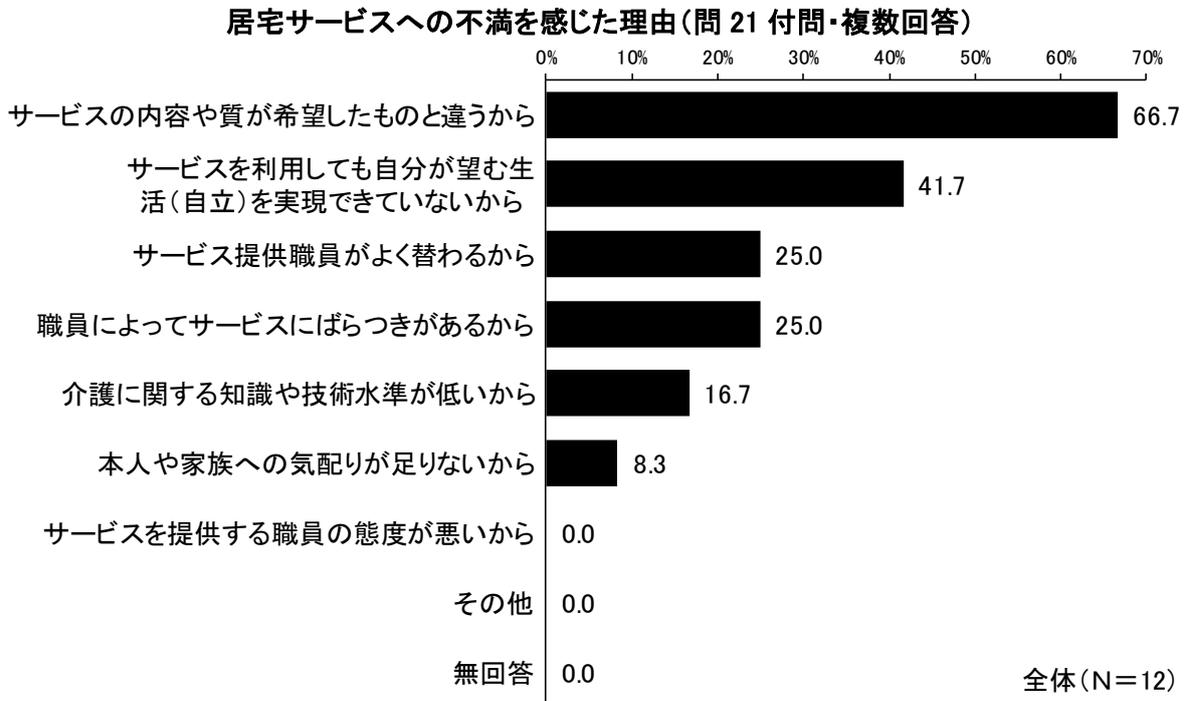


第2章 各調査の結果

3 介護保険在宅サービス利用者調査

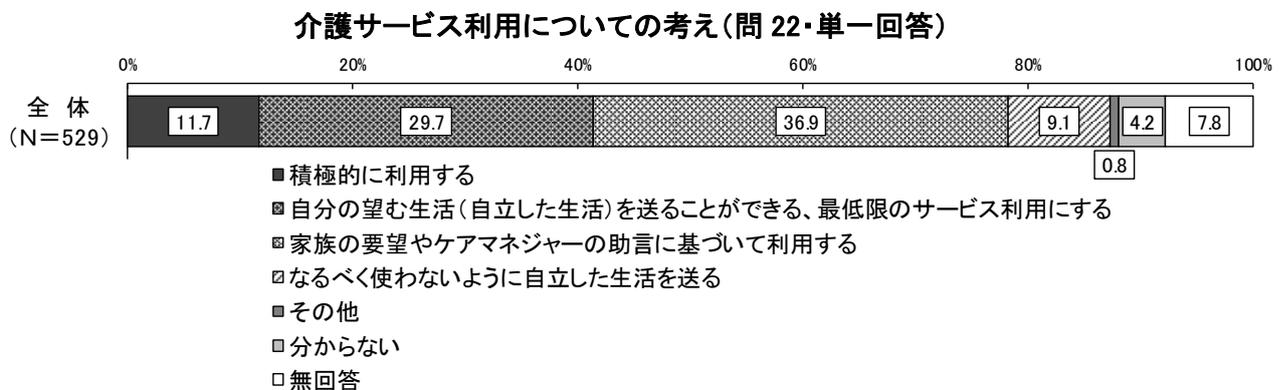
⑮居宅サービスへの不満を感じた理由（問 21 付問・複数回答）

居宅サービスへの不満を感じた人（問 21 で「やや不満である」「不満である」と回答した人）の理由は、「サービスの内容や質が希望したものと違うから」（66.7%）が最も多く、「サービスを利用しても自分が望む生活（自立）を実現できていないから」（41.7%）、「サービス提供職員がよく替わるから」及び「職員によってサービスにばらつきがあるから」（ともに 25.0%）と続いている。



⑯介護サービス利用についての考え（問 22・単一回答）

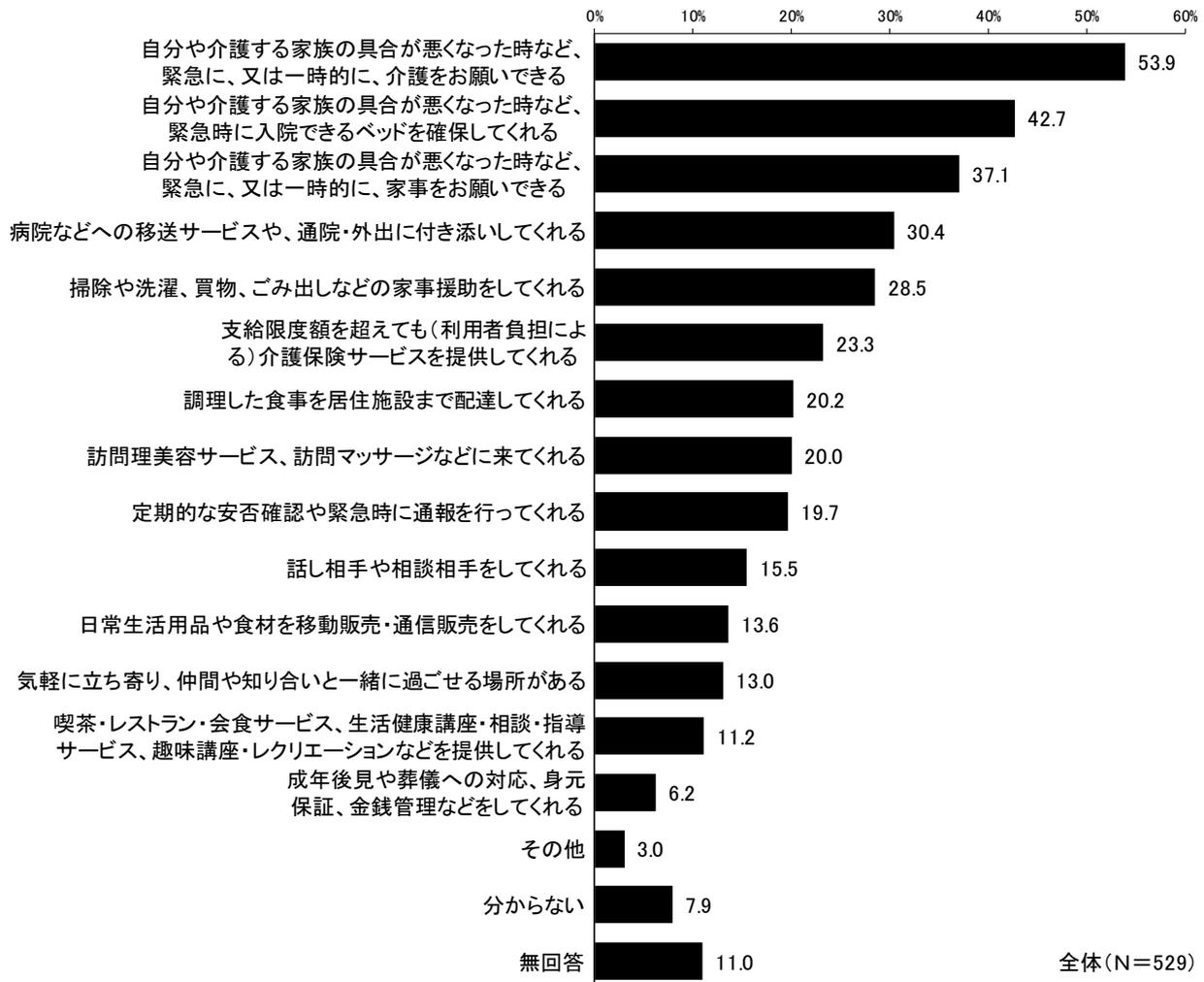
介護サービス利用についての考えは、「家族の要望やケアマネジャーの助言に基づいて利用する」（36.9%）が最も多く、「自分の望む生活（自立した生活）を送ることができる、最低限のサービス利用にする」（29.7%）、「積極的に利用する」（11.7%）と続いている。



⑰必要なサービス、手助け（問23・複数回答）

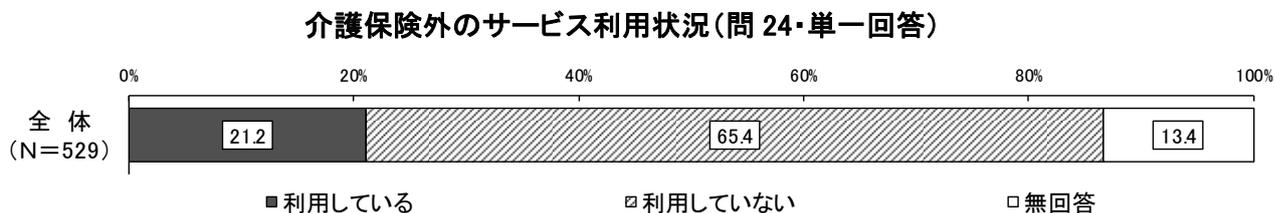
必要なサービス、手助けは、「自分や介護する家族の具合が悪くなった時など、緊急に、又は一時的に、介護をお願いできる」（53.9%）が最も多く、「自分や介護する家族の具合が悪くなった時など、緊急時に入院できるベッドを確保してくれる」（42.7%）、「自分や介護する家族の具合が悪くなった時など、緊急に、又は一時的に、家事をお願いできる」（37.1%）と続いている。

必要なサービス、手助け(問23・複数回答)



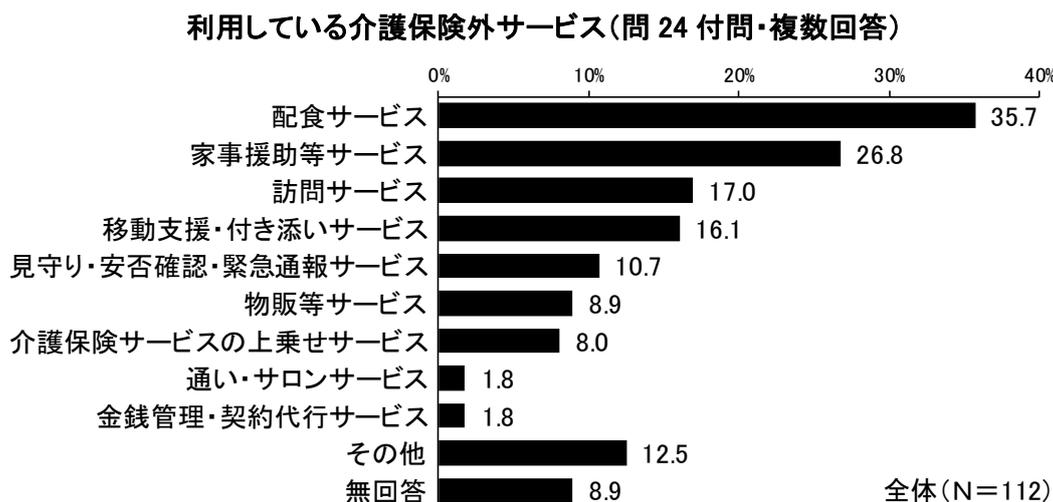
⑩介護保険外のサービス利用状況（問 24・単一回答）

介護保険外のサービス利用状況は、「利用している」が 21.2%、「利用していない」が 65.4%となっている。



⑪利用している介護保険外サービス（問 24 付問・複数回答）

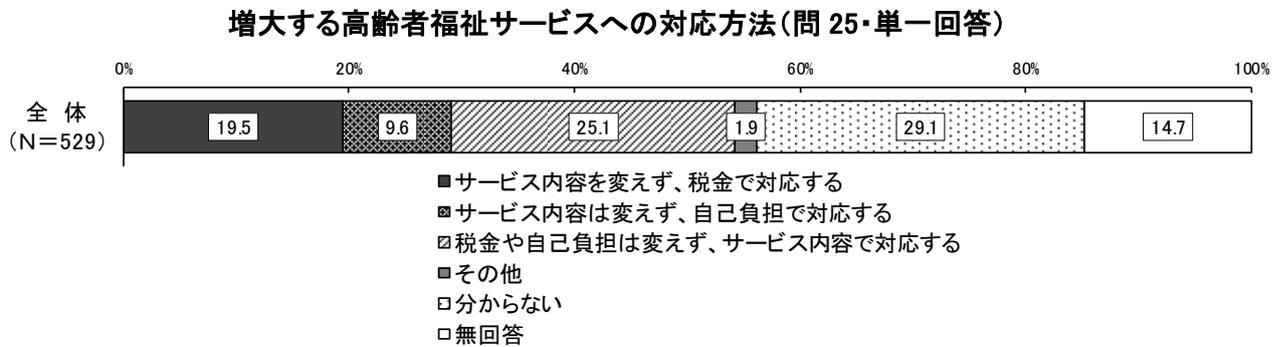
問 24 で「利用している」と回答した人が利用している介護保険外サービスは、「配食サービス」（35.7%）が最も多く、「家事援助等サービス」（26.8%）、「訪問サービス」（17.0%）、「移動支援・付き添いサービス」（16.1%）と続いている。



[その他の記述] 紙おむつの支給、デイサービス、有料老人ホーム、など

⑳増大する高齢者福祉サービスへの対応方法（問25・単一回答）

増大する高齢者福祉サービスへの対応方法は、「分からない」（29.1%）が最も多く、「税金や自己負担は変えず、サービス内容で対応する」（25.1%）、「サービス内容を変えず、税金で対応する」（19.5%）、「サービス内容を変えず、自己負担で対応する」（9.6%）と続いている。

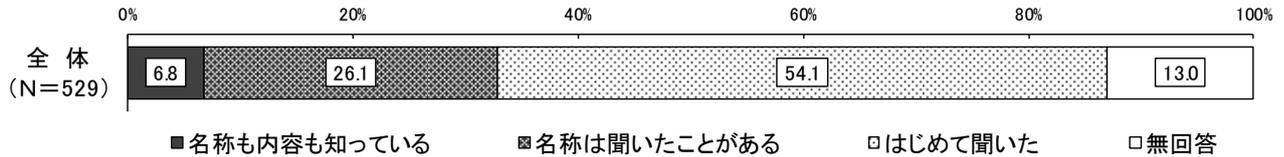


(5) 介護予防、認知症、権利擁護について

①介護予防・日常生活支援総合事業の認知（問 26・単一回答）

介護予防・日常生活支援総合事業の認知は、「名称も内容も知っている」が6.8%、「名称は聞いたことがある」が26.1%、「はじめて聞いた」が54.1%となっている。

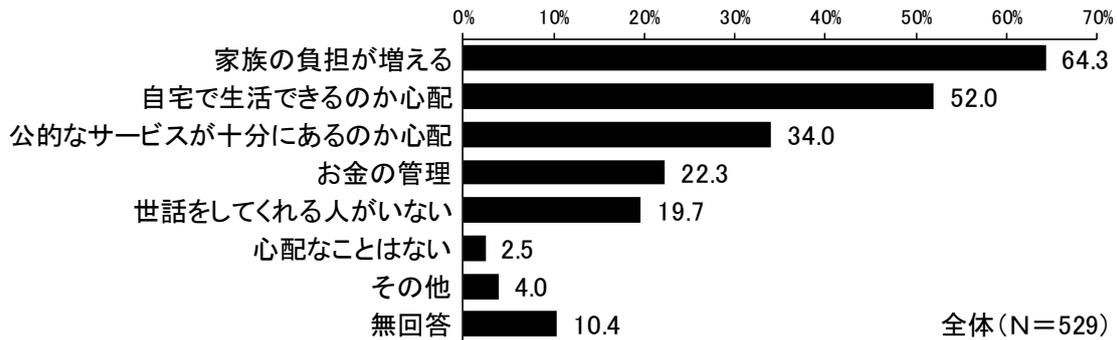
介護予防・日常生活支援総合事業の認知(問 26・単一回答)



②認知症で心配なこと（問 27・複数回答）

認知症で心配なことは、「家族の負担が増える」（64.3%）が最も多く、「自宅で生活できるのか心配」（52.0%）、「公的なサービスが十分にあるのか心配」（34.0%）、「お金の管理」（22.3%）と続いている。

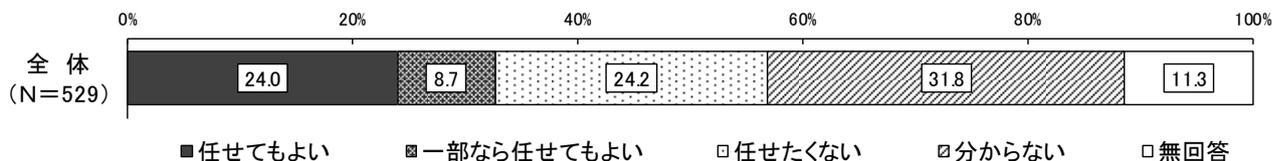
認知症で心配なこと(問 27・複数回答)



③成年後見制度について（問 28・単一回答）

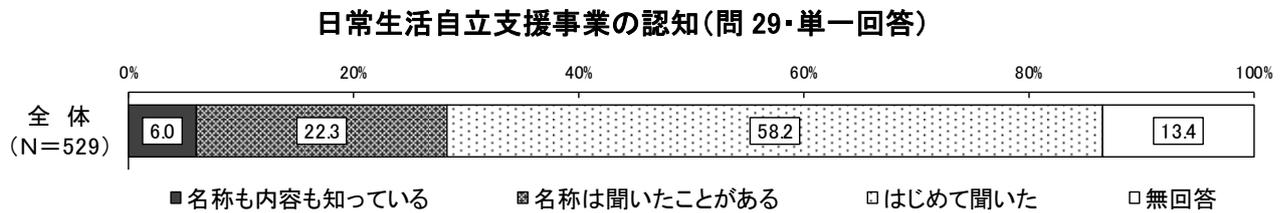
万一の時に成年後見人に財産管理などを任せることをどう思うかについては、「分からない」（31.8%）が最も多く、「任せたくない」（24.2%）、「任せてもよい」（24.0%）、「一部なら任せてもよい」（8.7%）と続いている。

成年後見制度について(問 28・単一回答)



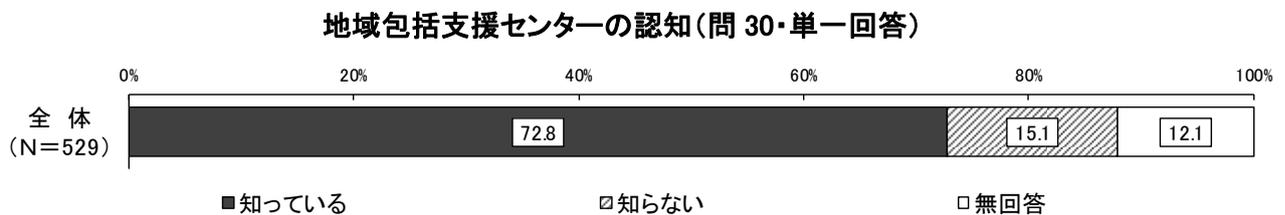
④日常生活自立支援事業の認知（問29・単一回答）

日常生活自立支援事業の認知は、「名称も内容も知っている」が6.0%、「名称は聞いたことがある」が22.3%、「はじめて聞いた」が58.2%となっている。



⑤地域包括支援センターの認知（問30・単一回答）

地域包括支援センターの認知は、「知っている」が72.8%、「知らない」が15.1%となっている。



第2章 各調査の結果

3 介護保険在宅サービス利用者調査

⑥自分の担当センターの認知（問 30 付問・単一回答）

問 30 で地域包括支援センターを「知っている」と回答した人に自分の担当センターを伺ったところ、正しく自分の住む地区の地域包括支援センターを答えた人は、「泉町地域包括支援センター」（91.2%）が最も多く、「富士町地域包括支援センター」（90.3%）、「田無町地域包括支援センター」（89.4%）と続いている。

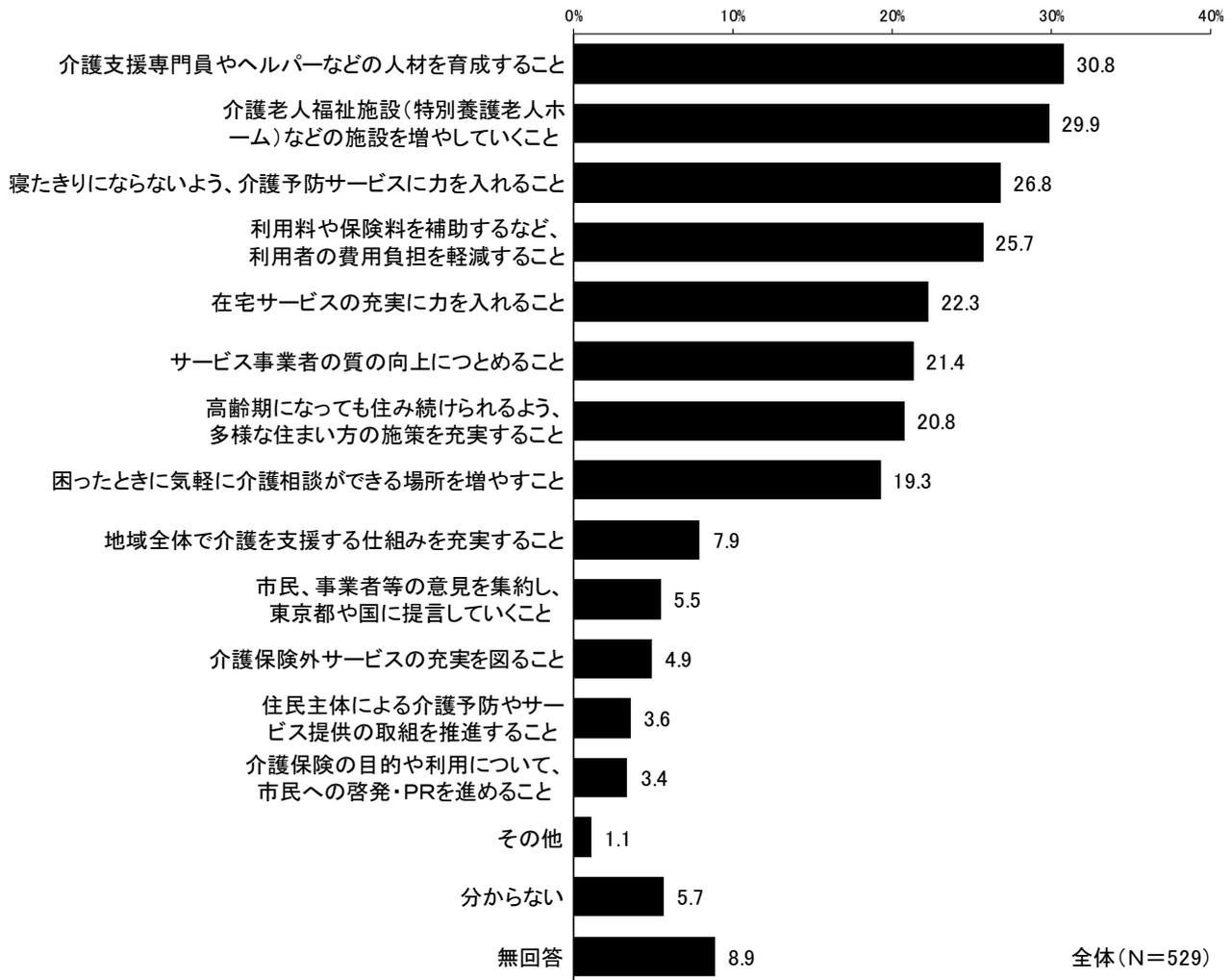
【地域包括支援センター地区別】自分の担当センターの認知(問 30 付問・単一回答) (%)

自分の担当センター ↓ 回答者の居住地区	田無町地域包括支援センター	泉町地域包括支援センター	新町地域包括支援センター	向台町地域包括支援センター	西原町地域包括支援センター	緑町地域包括支援センター	富士町地域包括支援センター	栄町地域包括支援センター	知らない	無回答
	全体 (N=385)	14.3	9.4	11.4	12.5	10.6	9.6	14.5	8.6	6.8
田無町地域包括支援センター地区 (N=47)	89.4	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0
泉町地域包括支援センター地区 (N=34)	2.9	91.2	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0
新町地域包括支援センター地区 (N=57)	3.5	1.8	77.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.3	5.3
向台町地域包括支援センター地区 (N=52)	3.8	1.9	0.0	88.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	1.9
西原町地域包括支援センター地区 (N=48)	4.2	0.0	0.0	2.1	85.4	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2
緑町地域包括支援センター地区 (N=45)	8.9	2.2	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0	0.0	8.9	2.2
富士町地域包括支援センター地区 (N=62)	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	90.3	0.0	4.8	0.0
栄町地域包括支援センター地区 (N=39)	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	84.6	7.7	2.6
無回答 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

⑦今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと（問31・複数回答（3つまで））

今後地域で暮らしていくために必要だと思うことは、「介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること」（30.8%）が最も多く、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設を増やしていくこと」（29.9%）、「寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること」（26.8%）、「利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること」（25.7%）と続いている。

今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと(問31・複数回答(3つまで))



⑧西東京市の介護保険制度についての意見・要望（問 32・自由記入）

西東京市の介護保険制度について、自由記入により意見・要望を伺った。主な内容は以下のとおりである。

□制度やサービスについて

- ・20年近く親の介護をしてきた者として、介護保険制度はなんとしても維持、存続させてほしい（高収入者の自己負担を多くするなどしても）。
- ・介護度の高い人が多い施設では会話や交流などを楽しめないため、ショートステイを利用すると認知が少し進んだ状態で帰宅する。介護度に合わせたショートステイ先がほしい。

□介護予防について

- ・転んで骨折してから寝たきりになった。そうなる前に参加した市の体操では、かなり足腰が鍛えられた。運動（特に歩行用）をして介護予防をするシステムがほしい。
- ・要介護1なのでデイサービスへ通い、体の動きも良くなり、筋力もついて、もうじきに要介護から外れると思う。その後の予防に体操教室を無料か低料金で実施してほしい。

□施設について

- ・介護老人福祉保健施設の増設充実を望む。

□移動手段について

- ・病院、買物、用足し等、希望する場所を巡回してくれる車（乗り合い）がほしい。

□経済的負担について

- ・医療費が限度額を超えて、かなり負担となっている。交通費や付添い者への謝金などもかかる。介護保険の1割負担が年金生活者にかなり厳しい。

□介護職員、人材について

- ・サービス事業者、介護職の人たちが生活できるように賃金を上げてほしい。経験を積んだ優秀な人材を育てるため、成長する前に離職することを防ぎたい。

□災害時の避難について

- ・高齢者世帯や要介護者の避難について、個々に防災対策を検討してほしい。
- ・車いす生活なので災害時に避難場所へ行けないと思う。行けたとしても、ベッドやトイレの事などが心配なので、手助けがほしい。

□介護者支援について

- ・夜間や休日に仕事をしている家族もいる。土日祝日も薬の介助などに対応してほしい。
- ・同居家族も高齢で持病があるため介護支援が必要。家庭の事情を考慮して運用してほしい。

□情報提供、手続きについて

- ・手続きが分かりにくく、介護サービスを受けられるようになるまで時間がかかった。市民への啓発・PRを。制度を理解できる場をもっと設けてほしい。
- ・毎月届く介護の計画書や請求書の内容をもっと分かりやすく納得できるようにしてほしい。